

# 3法人で若手リーダー育成

潤生園・合掌苑・福祉楽団

小田原福祉会・潤生園(神奈川県小田原市)と合掌苑(東京都町田市)、福祉楽団(千葉県香取市)の3つの社会福祉法人が共同して、現場のリーダーを育成する合同研修を実施した。若手リーダーの交流や意見交換を通じて、リーダーの役割や仕事の価値などに気付いてもらい、介護職に携わる誇りや自信を持ってもらう。「リーダーとはこういうべき」という理想像を押し付けるのではなく、「こんなリーダーになりたい」という目標を自分自身で見つけて欲しいというのが研修の主な狙いだ。

各法人から10人ずつ、20〜40代の男女計30人が参加した。役職は特養ホームのユニットリーダーやショートステイの副所長、非常勤ヘルパーをまとめるリーダーなど。管理者向けや職能ごとの研修プログラムはあるが、管理者未満の中間管理職を育てる研修が介護業界内で確立されていないことに危機感を感じた3法人の教育担当責任者とリクル

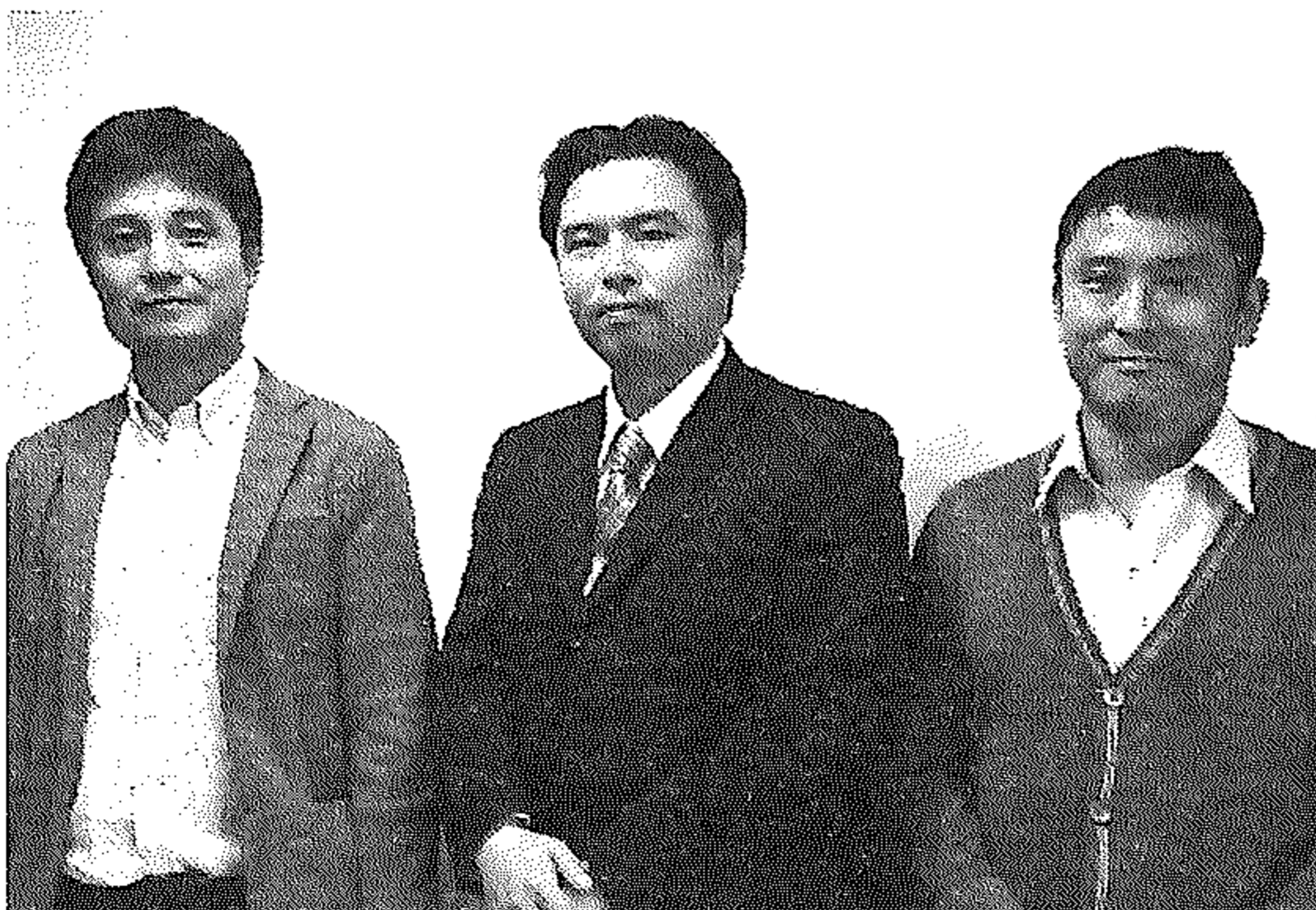
ピアカウンセリングで現在指摘を受けて自法人の強みへの取り組み方について考

## 介護の仕事に自信と誇りを 離職防止も視野に

自法人の強みと課題を発表



合同研修を企画した3法人の教育担当責任者



だという。

を再確認し、他法人の取り組みを知ることで自分の現在の課題を発見する。

2回目の研修では、法人や個人の課題を自分自身の仕事に落とし込んでいく。1回目の研修でさまざまな価値観に触れて視野を広げ

きた」と振り返った。合

掌苑第2居宅介護支援事業

ない」とした。

研修に参加した福祉楽団の特養ホーム杜の家やしおユニットサブリーダーの太田彩香さんは「相互訪問したことで、施設の課題を3法人で共感し合えた。良い部分はこれから伸ばしてい

きたい」と振り返った。合掌苑第2居宅介護支援事業所管理者の岡根浩太郎さんは「知識や技術などは経験を積む必要があるが、リーダーシップは経験では身に付かないと思った。まずはそれを知る必要がある。リ

合同研修を企画した3法人の教育担当責任者

だという。

育にも問題がある。研修で悩みを解消して、リーダーとしての自信や誇りを持つてほしい」と話す。今回のリーダー研修を体系化して、今後の人材育成プログラムにも取り入れていく考え